

君津中央病院企業団議会

平成26年9月定例会会議録(第2号)

日時 平成26年10月17日(金)午後2時00分開議

1 出欠席議員は次のとおりである。

出席議員

1番 石井 勝、2番 白坂英義、3番 服部善郎、4番 磯貝 清、5番 池田文男
6番 武次治幸、7番 小林新一、8番 福原敏夫、9番 高橋恭市、10番 佐藤麗子
11番 佐久間 清、12番 山口幹雄

欠席議員

なし

2 職務のために議場に出席した職員は次のとおりである。

3 説明のため出席したものは次のとおりである。

企業長 福山悦男、代表監査委員 笈川政登己、監査委員 中村芳雄、病院長 鈴木紀彰
事務局長 荒川裕司、事務局次長 岩名生磨、事務局参事兼分院事務長 内山輝雄
総務課長 小島進一、財務課長 丸 博幸、管財課長 三富敏史、医事課長 池田倫明
経営企画課長 石黒徳純、副院長 岡 陽一、学校長 須田純夫、分院長 田中治実
地域医療センター長 八木下敏志行、看護局長 齊藤みち子

4 会議に付した事件は次のとおりである。

- ・議案第1号 平成26年度君津中央病院企業団病院事業会計補正予算(第1号)について
(質疑、採決)
- ・認定案第1号 平成25年度君津中央病院企業団病院事業会計決算の認定を求めることについて
(質疑、採決)

(午後2時00分開議)

<議長>

ご多忙のところ、本日もお集まりいただき、ご苦勞さまでございます。

初めに、出席定数を確認いたします。

ただいまの出席議員数は12人でございます。

定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

次に、本日の日程につきましては、会議規則第19条の規定により、議長において定め、印刷配付し

てございます。その順序に従いまして会議を進めてまいりますので、ご了承願います。

日程第1 議案第1号及び認定案第1号について

日程第1、議案第1号 平成26年度君津中央病院企業団病院事業会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

議案第1号に対する質疑をお受けいたします。

質疑はございませんか。

（発言する者なし）

質疑なしと認め、討論を省略し、採決したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認め、採決いたします。

議案第1号を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

（全 員 挙 手）

挙手全員であります。

議案第1号 平成26年度君津中央病院企業団病院事業会計補正予算（第1号）については、原案のとおり可決されました。

次に、認定案第1号 平成25年度君津中央病院企業団病院事業会計決算の認定を求めることについてを議題とします。

認定案第1号に対する質疑をお受けいたします。

質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認め、討論を省略し、採決したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認め、採決いたします。

認定案第1号を原案のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

（全 員 挙 手）

挙手全員であります。

認定案第1号 平成25年度君津中央病院企業団病院事業会計決算の認定を求めることについては、原案のとおり認定されました。

以上で本日上程の全ての議案を議了いたしました。

ただいま企業長から発言を求められておりますので、これを許可いたします。

福山企業長。

<企業長>

それでは、定例会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

今回新しいシステムで、きょう2回目に皆さんまた議会においでいただきまして、お忙しい中を本当にありがとうございます。2議案につきましてお認めいただきまして、またありがとうございます。

いろいろ、ことしはですね、病院のほうも厳しい状況がスタート4月から続いておりまして、先生方にも大変ご心配をおかけしているかな、こういうふうに思います。

先日もですね、このことでいろいろと、厚生労働省とか、あるいは関係各自治体病院あるいは全国の

国保の診療施設協議会とか、いろんなところでいろんな方とお話しをしたんですけども、結局、4月の診療報酬は実質的にはマイナスの1.26%マイナス。一見、見かけ上0.10%プラスということで始まったんですけども、結局、消費税の値上げ分とか、そういうものが一応基本診療料に含まれて、一見それを補填されたような、見かけ上の話になってたんですけども、いろいろ調べてみますと、やっぱりマイナスであるということで、これは厚生労働省の新しい診療報酬の制度をつかった方が、本人がそう言うてましたんで、「マイナス改正だから、先生、勘弁してくださいよ」と最後におっしゃってましたけども。

そういう状況で、国のほうとしては、いたし方ないというか……。それは何かといいますと、やっぱり2025年度ですね、やっぱり後期高齢者の数が大変ふえて、そして先日制定された医療・介護の確保特例法ですか、ああいうものがある状況ですから、それに大変お金がかかると、社会保障費がそっちへ回るといような予定があるわけで、どうしても、そういう厳しい状況になったのかなと、こういうふう感じております。

しかし、病院はですね、いろんな形で、だからということで、しょうがないというふうに言うわけにもいきませんし、何とか地域医療のためにしっかりやっていかないといけない。

それで、介護面の問題もですね、これからだんだん表に出てくると思います。そういうことも含めて、医療・介護というのは、これからも仕事になってくると私も思っております。そういうことで、いろいろ病院としても対応を考えて頑張っていきたいなど、こういうふうに思っておりますんで、4市の先生方にも、いろいろとご協力いただくようになると思っていますんで、どうぞまたよろしく願いいたします。

きょうの定例会の閉会に当たりましてのお礼と、今後の病院としての気持ちを申し上げます。

どうもありがとうございました。

<議長>

以上をもちまして、本定例会を閉会いたします。

皆さん、ご苦労さまでございました。

(午後2時06分閉会)